

中津川プロジェクト（高大連携教育プログラム）

佐藤 健太

（1）仮説

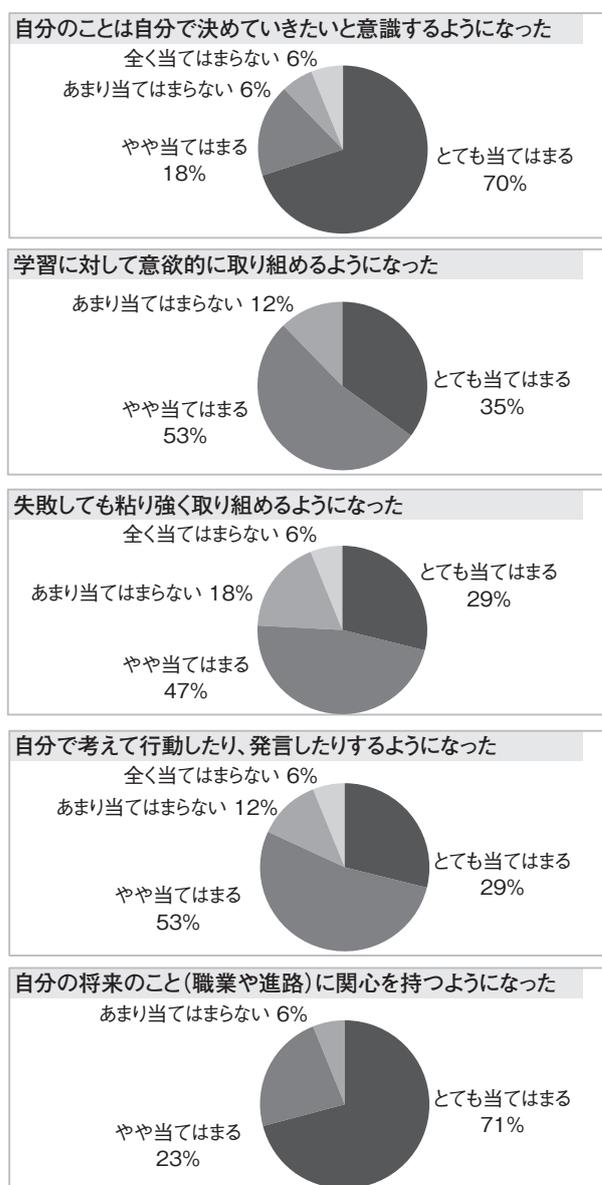
様々な分野の大学教員から講義を受けることにより、教科を超えた学問に触れ、学んだ知識を統合し、課題の本質について他者と協同しながら主体的に探究し続ける意欲を養う。

（2）実践

日時：2019年8月6日（火）～8日（木）。場所：奥矢作レクリエーションセンター（岐阜県恵那市串原）。目的：教科を超えて学問に触れる。大学の学問と連携する。参加生徒：本校17名。引率者：大谷尚教育発達科学研究科高大接続研究センター長、本校教員3名、看護師1名、計5名。講師：足立守環境学研究科地震火山研究センター特任教授、根本二郎アジア共創教育研究機構/経済学研究科教授、岡崎研太郎・高橋徳幸医学系研究科教授、工学研究科松下裕秀教授、藤巻朗工学研究科教授、大林達夫中津川鉱物博物館館長、計7名。総計29名

（3）評価

2日目の講義後に、今回のプロジェクトを振り返りながら「学ぶ」ということについて、改めて考えて意見をし合う時間を作った。参加生徒の事後アンケート結果は以下のように例年以上の成果があった。



(文責 佐藤健太)